

ブドウ「シャインマスカット」における出荷期間の拡大技術

福島県農業総合センター果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹－ブドウ－栽培

2 担当者

桑名篤・川口悦史・志村浩雄・額田光彦・斎藤祐一・安達義輝

3 要旨

近年、栽培が増加しているブドウ「シャインマスカット」は、有色の果実袋を利用することで、収穫期を遅らせることができ、貯蔵との組み合わせで出荷期間の拡大が可能である。

- (1) 青色及び緑色の有色袋は、白色袋と比較して遮光率が高いため、糖度の上昇を遅らせることができる(図 1)。収穫期の目標を糖度 17° Brix 以上、着色指数 3 以下とすると、有色袋は、白色袋より収穫期を 10 日以上遅らせることが可能である(図 2)。
- (2) 10 月 5 日に収穫した果実を 5°C で冷蔵保存した場合、有色袋は白色袋と比較して腐敗果及び脱粒の発生が少なく、12 月 24 日(貯蔵後 80 日)まで保存することが可能である(図 3、4)。
- (3) 貯蔵後の果実品質は、貯蔵前の果実品質と同等である(データ省略)。
- (4) 有色袋の利用と冷蔵保存を組み合わせることで出荷期間を拡大でき、お歳暮やクリスマスの時期における高品質な果実販売が可能となる。

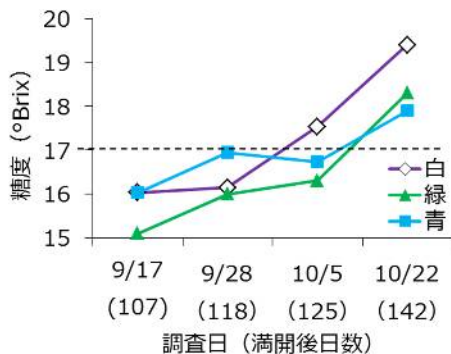


図 1 果実袋の種類と糖度の推移

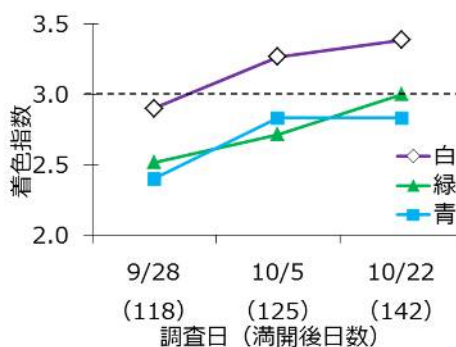


図 2 果実袋の種類と着色指数の推移 (JA 伊達みらいカラーチャート)

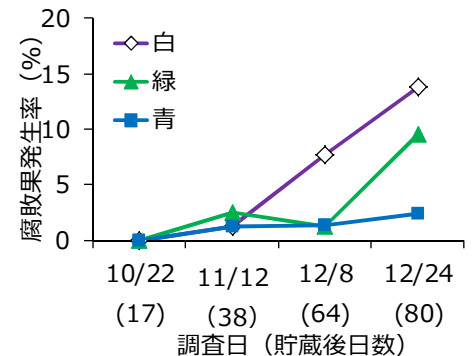


図 3 貯蔵後の腐敗果の発生 (10 月 5 日収穫果実)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 26 年度～27 年度
- (2) 研究課題名 果樹新品種及び一般品種の栽培特性等調査
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

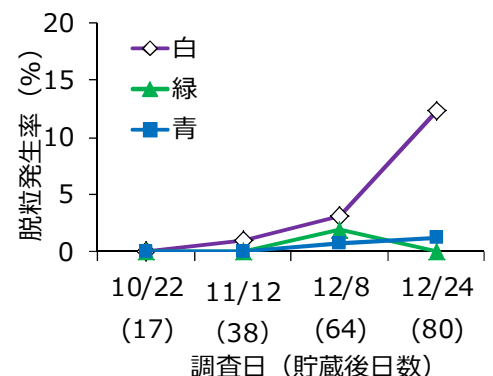


図 4 貯蔵後の脱粒の発生 (10 月 5 日収穫果実)